

淀川

今昔明日
ものがたり

堺編 Part I

堺から始まる京への旅

3月5日

2016年

会場

さかい利晶の杜

堺市堺区宿院町西2-1-1

土

13:00~15:00

事前申込制
参加無料

主催=関西大学VOLCANOプロジェクト
共催=堺市、関西大学総合情報学部AMDプロジェクト
協力=関西大学なにわ大阪研究センターPPE、林原美術館
お問合せ=関西大学研究推進部 ☎06-6368-1761 (角谷 ツミヤ)



大岡春卜(1680-1763)

江戸時代中期の大坂の絵師。師は不明だが、狩野派を学んだ。さまざまな流派を駆使した美しい構図と個性豊かな筆致で絵画を書き、高い評価を得た。絵画の普及に努め、版本の挿し絵を得意とし、庶民からも人気を博した。代表作「浪花及澁川沿岸名勝図巻」 関西大学図書館所蔵

堺から始まる京への旅

元禄の日本を代表する大阪画壇の巨匠、大岡春卜。彼は、堺から京都までを旅し、その風景を絵にしていきました。春卜の名品『浪速及澁川沿岸名勝図巻』は、日本絵画における市民性の始まりを示すものともされ、貴重であり、また楽しい作品です。本講演では、大岡春卜に加え、江戸期の奇才・木村蒹葭堂の作品などを、超高精細デジタル画像で皆様にお楽しみにいただきます。関西大学 VOLCANO プロジェクトは、地域の貴重な文化財を可視化し地域共有することを進めており、本講演もそうした活動の一つとなっています。

左=岡田米山人「山水図」(19世紀初頭) 右=木村蒹葭堂「米法山水図」(18世紀後半)
関西大学図書館所蔵



講演会プログラム 司会=角谷賢二 関西大学学長室シニアURA

挨拶 堀雅洋氏 関西大学総合情報学部教授

「VOLCANO プロジェクトとは?」 林直保子氏 関西大学社会学部教授

「超高精細デジタル画像とは?」 林武文氏 関西大学総合情報学部教授

講演 大岡春卜《淀川絵巻》



～堺から京までの風景と大坂画壇～

中谷伸生氏 関西大学文学部教授

3月5日

2016年
日土

会場

さかい利晶の杜

堺市堺区宿院町西2-1-1

13:00~15:00

事前申込制
参加無料

主催=関西大学 VOLCANO プロジェクト
共催=堺市、関西大学総合情報学部AMDプロジェクト
協力=関西大学なにわ大阪研究センターPPE、林原美術館

淀川
今昔明日
ものがたり
堺編 PART I

お申込み

参加ご希望の方は、下記アドレスに件名を「3月5日今昔明日ものがたり参加希望」として、必須事項 ①氏名 ②所属 ③メールアドレス ④電話番号 を記載のうえお申込ください。(定員 70 名に達し次第、受付を終了させていただきます場合があります)

✉ kenkyushien@ml.kandai.jp (関西大学研究推進部 ☎06-6368-1761)